

その他の活動報告



4年ぶりに開催の「高齢者長寿祝賀会」で地元の先輩へ感謝とエールを送る！



くまモンポート八代完成式典でクルーズ船「スペクトラムオブシーズ」の船長と！



久々の開催となった「校区町民体育祭」で選手宣誓！



都道府県議会議員研究交流会で「主権者教育2.0を目指して」等の研修！



地元校区で大規模防災訓練を実施！



年頭より街頭であいさつ！



地元校区の「はたちを祝う会」で新成人にエール！



能登半島「救援募金」に応援参加！



熊本ヴォルターズと台湾チームとの交流戦を観戦！アリーナの必要性を実感！

《前田のりよしプロフィール》

- 1964年8月16日生まれ 59歳
- 桜木小学校、東野中学校、県立第二高等学校、熊本商科大学(現熊本学園大学)卒業
- 学習塾、税理士法人勤務を経て、平成19年熊本市議会議員初当選
平成23年熊本県議会議員初当選 現在4期目
- 資格等：医業経営コンサルタント、CIPFA地方監査会計技術者、NIE.E(新聞による経済教育)講師指導委員・熊本支部長
- 趣味：スポーツ観戦、旅行



その他、詳しくは【前田のりよし『誠心誠意』公式Webサイト】【熊本県議会】ホームページをご覧ください。

前田のりよし『誠心誠意』公式ウェブサイト <http://maeda-noriyoshi.net/>
前田のりよし公式Webサイト

熊本県議会ホームページ

Instagram



twitter



facebook



住所：熊本市南区南高江6丁目19-50
連絡先：県議会公明党
096-333-2645
携帯：090-1871-6631
Email：maeda@komei-kumamoto.jp

前田のりよし 議会NEWS Vol.25

ごあいさつ

皆様方には、日頃より県政へのご指導・ご鞭撻を賜りまして誠に有難うございます。新型コロナ対応が5類に移行し、様々な諸行事、地域のイベントも開催され、元に戻ってきています。ただ、インフルエンザ等の流行も心配されます。マスク着用は個人の判断ですが、各人の感染対策は引き続き行っていただければと思います。今回は、令和5年第4回定例県議会での「一般質問」の内容と、これまでの活動の模様を紹介させていただきます。引続き、県民の皆様からの声を県政にしっかり届けて行く決意でございます。どうぞご覧ください。



半導体関連等の人材育成で現地視察・意見交換

安江伸夫文部科学大臣政務官に同行し、熊本大学、熊本高等専門学校、高森中学校を視察、半導体関連の人材育成、デジタル人材の輩出等、現場の担当者と有意義な意見交換を実施することが出来ました。

熊本大学

熊本大学の小川久雄学長と半導体人材育成、今後の大学の在り方等、様々議論を重ね研究の課題や今後の展望を意見交換する。工学部の講義を参観させていただき、学生の皆さんの意欲を実感する。



熊本高等専門学校

熊本高専の高松洋校長と高専の特徴を生かした人材育成と地域貢献等を意見交換する。

高森中学校

高森中学校を視察、先進的なICT教育の現場で未来の子供達の成長と可能性を実感する。



議会質問

県議会で17回目の質問に立つ

[主な質問内容]

アリーナ等スポーツ施設の整備について

《質問》今後の熊本におけるプロスポーツ振興はもとより、イベント等での経済振興の起爆剤になり得る欠かせない重要な施設である**アリーナ等スポーツ施設の整備**に向けて、どのように検討を進めるのか、知事に尋ねる。

《答弁》**蒲島知事**：アリーナ等のスポーツ施設は、周辺産業の経済波及効果、雇用創出も期待できるなど、県民の夢や誇り、地域活性化に大きく貢献する潜在力を有していると考えます。アリーナを含めたスポーツ施設整備ができるだけ早期に実現できるよう、その在り方について引き続き丁寧に検討を進めてまいります。



若者の地元定着へ向けて

《質問》くまもと創造人材奨学金返還等サポート事業、通称「くま活サポート」として、奨学金返還支援制度(最高で約450万円が免除)が実施されている。利用状況や対象者への周知、県の特徴、UIターンなどふるさと回帰、地元定着の期待度は。

《答弁》**商工労働部長**：募集開始から3年間で、延べ238社の企業と664名の学生等が参加登録、説明会の開催、SNSなどの媒体による情報発信を行っている。特徴的は、企業と学生がそれぞれ登録する方式を取り入れ、専用サイトで企業情報等をダイレクトに伝えるなどのマッチング機能を高めている。今後、半導体関連産業のさらなる集積に伴う人材確保に多くの学生や企業の方々にくま活サポートを周知し、活用いただくことが重要と考える。

健康寿命の延伸を目指して

《質問》コロナで懸念される**がん検診の受診率の低下**と**HPVワクチンのキャッチアップ接種**の接種状況について、**带状疱疹ワクチン**の接種機会の必要性と公費助成への検討について。

《答弁》**健康福祉部長**：「そうだ！がん検診にいこう」のキャッチフレーズに、受診率向上のキャンペーンを実施する。HPVワクチンのキャッチアップ接種は6100人と前年比1.5倍で、期間内に終わられるよう大学等への働きかけSNSの活用等対象者に必要な情報が確実に届くようしっかりと取り組む。带状疱疹ワクチンについては検討を急ぐよう国に要望し、情報収集に努めてまいります。

[その他]

- サークュラー・エコノミー(循環経済)に向けての挑戦
- 誰もが安心して暮らせる街を目指して
- 水素の可能性をあきらめない(要望)
- 県営団地の今後のあり方について(要望)

詳しくは県議会インターネット(録画)中継をご覧ください



蒲島知事へ緊急要望

県民生活を守るため国の総合経済対策の効果的な実施を求める

令和5年11月に発表された国の総合経済対策は、生活者支援と確かな賃上げの実現を目指すもので、令和5年度補正予算はこの趣旨を反映したものとなる。また、今回の総合経済対策は地方を重視した予算であり、生活者を守るための効果的な実施を求めるため、◎低所得世帯支援の年内の迅速な給付に向けて全力をあげる◎重点支援地方交付金における公平な支援の実現と特別なニーズへの対応◎事業者へのエネルギー価格高騰等に対する支援策の充実を、具体的な内容を含め蒲島知事に対し、緊急要望いたしました。



県政報告会

県下各地で県政報告会を実施

県政の喫緊の課題、国の政策の動向、皆さまからの要望が実現した事、また、地域の課題や問題提起に耳を傾け、解決に向けて頑張っております。



玉名市(玉名市民会館会議棟)



西区(花園公民館ホール)



南区(幸田公民館ホール)

国への要望活動

蒲島知事に同行し国への要望活動を実施

蒲島知事、県議会議長と共に齊藤鉄夫国土交通大臣、与党公明党の山口那津男代表にTSMCを初め熊本の**更なる発展に向け道路・インフラ整備等予算の要望活動**を実施しました。

